

## 2 環境教育の実施状況

### (1) 新治小学校

10月20日に新治小学校6年生が参加した遠足が旧三国街道で実施され、地域協議会が自然解説と旧三国街道にまつわる歴史の説明を行い、赤谷センターがセンサーカメラの設置指導を行いました。

なお、センサーカメラを11月25日に回収したところ、ニホンイノシシ、ノウサギ、アカネズミ、シロハラが撮影されていました。

また、新治小学校5年生がキャンプ活動を体験する「レッツ！サマースクール」が7月22日から23日にかけて、赤谷の森の隣接地にある「高原千葉村」という千葉市の施設で行われ、この行事の一環として地域協議会と赤谷センターが環境教育を行いました。キャンプ場内に設置した5つのテーマ（①自然物の利用、②森林の仕組み、③アリジゴク、④キノコの働き、⑤森に生きる動物）について、生徒と一緒に自然観察を行いました。



新治小学校6年生の遠足の様子



新治小学校5年生への環境教育

### (2) 新治中学校

これまでは、総合学習の一環として、新治中学校1年生に対して座学を中心に環境教育を行ってきましたが、平成22年度は初めて、小出俣エリアで行いました。小出俣林道を歩きながら、赤谷プロジェクトの取組、赤谷の森の動植物、身の回りの森林や里山の歴史等の説明に熱心に聞き入っていました。



カラマツ林試験地について説明

### (3) 利根実業高校

利根実業高校の農業系1年生は、2年生に進級する際に生物資源、森林科学、食品文化、生活環境のいずれかのコースを選択します。そこで1年生が森林科学コースを選択する際の参考となるよう、環境教育を行っています。

平成22年度は、6月11日から7月16日の間の4回に分けて、センサーカメラの写真の説明や観察器具を使用した野鳥観察等を行いました。



センサーカメラ写真を用いて説明



猛禽類の同定について説明

#### (4) 高原千葉村を訪れた千葉市立中学校

高原千葉村では、千葉市立中学校の2年生を対象に、3泊4日で自然教室が実施されています。この中のメニューの一つとして「いきもの村自然体験」があり、平成22年度は6月12日に稲毛中学校の生徒が、9月9日に葛城中学校の生徒がいきもの村を訪れ、センサーカメラの設置実習やいきもの村周辺の自然観察路を利用した環境教育を行いました。

環境教育の実施に当たっては、赤谷センターと関東森林管理局の出先機関で千葉市に所在する千葉森林管理事務所とが連携し、いきもの村での環境教育を受講する中学校の要望を聞き取り、要望がある場合には千葉森林管理事務所から中学校に出向き事前学習を実施しています。

また、高原千葉村では、中学生を指導する先生方に対する「自然教室指導者講習会」を実施しています。赤谷センターではこの講習会の一環として、赤谷センターが提供している環境教育の内容についての説明を、3月4日にいきもの村で行いました。その際、先生方と実施内容について意見交換を行い、今後の改善に向けた参考にしています。



センサーカメラ設置実習



千葉市の先生方